

新たな消防団員誕生

大津町消防団辞令交付式

大津町消防団辞令交付式は、4月24日、オークス広場で行われ、新入団員55人と新幹部となった66人に辞令が渡されました。式では、西田健一団長が訓示を行い、新入団員の第1分団大田黒裕樹さんと新幹部の第7分団副分団長山口幸嗣さんが「忠実に消防の職務を遂行します」と宣誓しました。また28人に菊池郡支部長表彰(勤続10年以上)、31人に団長表彰(勤続5年以上)が贈られました。

その後、規律訓練や普通救命講習、認知症サポーター養成講座を実施。参加した団員は消防団としての自覚を再確認しました。

また今回から消防団本部に女性消防隊が誕生しました。15人の女性消防団員は、地域を守る消防団にさらなる力を生み出してくれそうな気がします。



■熊本県消防協会菊池郡支部長表彰

分団名	氏名	
第1分団	緒方敬士	西村真善
第2分団	吉山 卓	宮本朋典
第3分団	佐々木英幸	藤本純一
第4分団	徳留久士	藤本拓也
第5分団	宮崎俊也	岩下義明
第6分団	古庄大輔	岩水裕二
第7分団	村山博徳	永田正己
第8分団	本田 猛	吉村貴志

■大津町消防団長表彰

分団名	氏名			
第1分団	國武優也	門岡富春	平野卓巳	田中啓介
第2分団	管野民男	高橋功一	江藤琢哉	
第3分団	江藤英樹	松岡省吾	上藤剛志	樋口聡志
第4分団	山本 武			
第5分団	近藤正和	林 秀一	坂本浩太	高橋千春
第6分団	宇野恵太郎			
第7分団	高木伸昭	藤原浩一	田呂丸真吾	
第8分団	飯屋欣哉	竹隈雄治	本田 聡	

子どもたちの言語活動の充実を目指して

NIE協定 締結式

(株)熊本日日新聞社と町教育委員会は、4月15日「児童・生徒の言語活動充実を目指す新聞活用に関する協定」を締結しました。新聞記事を活用した授業などで、記事の二次利用や、講師派遣などの活動ができます。那須教育長は「言語活動が充実すれば、コミュニケーション能力が上がる。新聞を読むことで社会や世界にも関心が持てるようになる。今後もさらにNIE活動に力を入れていきたい」と抱負を述べました。



大津町の子どもたちのために(株)熊本日日新聞社松下編集局長としっかり握手を交わす那須教育長

梅の造花、町指定文化財へ

梅の造花 指定文化財交付式

大津の伝統工芸「梅の造花」が町指定文化財に指定されました。梅の造花の、大津町でも広域的に見ても非常に独特である特徴が指定理由の一つです。5月2日には指定文化財の交付式が役場で行われました。肥後大津民芸造花保存会の会長である新開ツキ子さんは「長年の活動を思い起こすと、言葉にならない思いが込み上げます。これからも努力したいと思います」と喜びを語りました。



肥後大津民芸造花保存会の皆さん(前列)と見事な梅の造花

大津町の社会福祉に大きく貢献

平成22年度熊本県社会福祉功労者知事表彰

4月8日、町老人福祉センターで、「平成22年度熊本県社会福祉功労者知事表彰伝達式」が行われ、社会福祉に貢献した4人が表彰されました。



●民生委員・児童委員
15年以上
さかもととよこ
坂本豊子さん

民生委員・児童委員として18年間、児童から高齢者まで多様な地域の問題に対応し、積極的な支援活動を行うなど地域福祉の向上に貢献。



●ボランティア
5年以上
むらた とおる
村田 徹さん

「食」の自立支援事業給食サービスの配食ボランティアとして7年以上活動し、利用者とのコミュニケーションを図るなど高齢者福祉の向上に貢献。



●社会福祉事業施設の職員
15年以上
まつながかずひろ
松永一博さん

知的障害者更生施設「つくしの里」に18年以上勤務し、後進の指導・育成・教育および施設運営など障害者福祉の向上に貢献。



●社会福祉事業関係
団体職員 15年以上
わだ こ
和田とも子さん

大津町社会福祉協議会に19年以上勤務し、訪問介護など利用者の立場に立ったサービスを提供するなど在宅福祉の推進に貢献。

大きくなってまた会おうね

大津小の児童が稚アユの放流を体験

稚アユの放流が4月26日に、白川中流の日暮橋付近で行われました。これは白川漁協の皆さんが子どもの頃から白川に親しんでもらいたいとの思いで大津小の5年生を招待したものです。子どもたちは「またね」と稚アユに話しかけながら、次々に放流しました。坂本貴太くん(灰塚)と後藤将生くん(美咲野)は「とても楽しかったです。自然が大好きになりました」と放流を楽しんでいました。



放流後、児童たちは「命を大事にしたいです」と感想を話しました。夏には約20cm程度のアユに成長するそうですよ